

お知らせ (予防接種)

麻しん(はしか)の個別接種

予防接種実施規則の一部が改正され、はしかの個別接種を始めてから一年たちました。

そこで、改めてその内容などについてお知らせします。

はしかは、一度かかる病気だと軽く考える人もいますが、かかる和高熱が続く、肺炎や脳炎をおこし、あとに脳症状などを残すこともありまます。これらの余病をさけるためにも、予防接種を受けたほうがよいといわれています。

- ① 発育が特に悪い幼児。
- ② 心臓、血管系、じん臓、肝臓などの病気で治療中の幼児。
- ③ 以前に予防接種を受けて、異常に強い反応があった幼児。
- ④ 一年以内にひきつけをおこしたことがある幼児。
- ⑤ ほかの予防接種を受けて一か月以上経過していないか、一か月以内にほかの予防接種を受ける予定のある幼児。
- ⑥ 三か月以内に、はしかの予防などでガンマグロブリンの注射を受けたことがある幼児。

対象地区	会場	ツベルクリン反応検査	判定と接種 BCG
所野地区	所野憩の家	1月30日	2月1日
宝殿、七里、野口、和泉、山久保地区	野口小学校	2月5日	2月7日
清滝地区	清滝公民館	2月6日	2月8日
中宮祠、湯元地区	中禅寺医院	2月12日	2月14日
小来川地区	小来川診療所	2月13日	2月15日
東町、西町地区	母子健康センター	2月25日	2月27日

(時間は中禅寺医院のみ午前10時30分～11時、その他はすべて午後1時30分～2時)

ツベルクリンとBCG

- ◎接種を受けるときの注意
- ① 接種についての注意書は、実施する医療機関に用意してありますので、よくお読みください。
- ② 医療機関にある問診票に記入してください。
- ③ 印鑑、母子手帳が必要です。
- ④ 料金は四千円です。
- ◎料金の減免

**三種混合 追加接種**

百日せき、ジフテリア、破傷風の三種混合予防接種は、九月から

昭和五十四年度のツベルクリン反応検査とBCG接種を、次の日程で行います。

対象者は、昭和五十三年一月一日から同年十二月三十一日までの出生児。または、同四十九年四月二日から同五十二年十二月三十一日の間に生まれ、今までに一度も受けていない子供です。なお、今春入学する子供は除きます。

該当者は、母子手帳と印鑑をご持参のうえお受けください。

市民税が均等割額以下の方は、料金が減免されます。料金の減免を希望される方は、接種を受ける前に、保健衛生課に料金の減免申請をしてください。

◎問い合わせ先

市役所保健衛生課保健防疫係

(電話) 一一一内線二四三

◎麻しん(はしか) 予防接種医療機関名(順不同)

森島医院(予約が必要)

森島小児科(毎週火・金曜日の午後二時三十分から三時まで、予約が必要)

日光医院(予約が必要)

河合医院(予約が必要)

小西医院(予約が必要)

藤原病院(予約が必要)

中禅寺医院

加藤耳鼻咽喉科医院(予約が必要)

岡医院(予約が必要)

鶴原小児科

高野内科(予約が必要)

河合耳鼻科(予約が必要)

古河日光総合病院(毎週金曜日の午後一時)

日光市立小来川診療所(予約が必要)

(訂正) 12月号「表紙のことば」で、鱒供養の碑文を「鱒釣や雲ぬぎかきし青二荒」とあるのは「雲ぬぎかけし」のあやまりでした。碑面には「鱒釣や雲脱ぎ可希し青二荒」とあり、希は、けと読みます。養殖研究所の徳井信氏からご注意がありました。

対象者は、昭和五十年七月一日から同五十二年六月三十日までの出生児で、昨年三月までに第一期三回接種している子供です。

(三種混合予防接種の追加日程)

◎一月十八日 午後一時三十分から二時 総合会館

◎一月二十一日 午後一時三十分から二時 清滝公民館

歴史の「足跡」を火魔から守ろう

**文化財防火デー 1月26日**

日本人の歴史と文化の「足跡」——文化財。これらの多くは、紙や木など燃えやすいものでできています。一度燃えてしまったものは、もう元には戻りません。火災の多いこの時期、とくにご注意ください。

